

認定こども園 鳥取短期大学附属幼稚園・保育園 紹介

本園は、今年度から、0歳～5歳児に対して保育と教育を一体的に行う新たな幼保連携型の「認定こども園」としてスタートしました。園名には幼稚園・保育園の名称が残っていますが、来年度には新しい制度に基づき園名変更を行う予定です。

本園は、目指す子ども像として「チャレンジ意欲に溢れる子ども」「思いやりのある心やさしい子ども」などを掲げています。子どもたちには、チャレンジや多様な出会いをとおして心豊かに成長してほしいと願っています。



おじいちゃんおばあちゃんとの交流
～手話をしながら「ふるさと」を～

先月は、年長組がケアセンター「マグノリア」を訪問し、入所者の方々と交流しました。園児たちは、手遊びや歌を披露し、「ふるさと」は手話を交えて歌いました。最後は、園児の手づくり楽器と園内の畑で収穫したタマネギとジャガイモをプレゼントし、「もりもりロックンロール」を一緒に楽しみました。入所者の方々も手づくり楽器を鳴らしていただき、園児たちはアンコールも含め3回も踊る大盛況でした。帰りのバスや園に帰ってからも、「また行きた～い」「今度はいつ行く？」と何度も聞いていました。2回目は、年中組がクリスマスに合わせて訪問し、交流を行う予定です。



みんなてちくちく山探検に出発だ！

また、本園では、オープナーとして「チャボっこクラブ」を開催しています。園内で自然に触れたり園児と遊んだりしながら、未就園児や保護者の方の交流の場として活用していただいています。様々な体験活動も用意していますので、楽しいひと時を過ごしていただきたいと思います。また、子育ての相談がありましたら、本園の職員が対応させていただきますので、お気軽にお尋ねください。

子どもの成長には、地域の方々とのふれあいがとても大切です。新たな認定こども園として、地域への貢献の視点を忘れずに、これまで以上に地域の方々との交流に力を入れていきたいと思っています。



オープナー「チャボっこクラブ」
～親子でさつまいもの苗植え～

平成27年度 オープナー「チャボっこクラブ」のお誘い

未就園のお子さん・保護者の皆さん、こども園で楽しいひと時を過ごしませんか？

| 期日 | 時間 | 内容 |
|----------|-------------|-----------|
| 11月3日(火) | 10:30～13:30 | ちくちく山の秋祭り |
| 9月9日(水) | 10:15～11:30 | ミニミニ運動会 |
| 11月5日(木) | 10:15～11:30 | いもほりをしよう |
| 10月4日(日) | 9:00～13:30 | ちくちく山の運動会 |
| 12月9日(水) | 10:15～11:30 | クリスマス会 |

連絡先：鳥取短期大学附属幼稚園・保育園 TEL (0858) 26-9101

地域交流センターをご利用下さい

鳥取看護大学・鳥取短期大学では、個人・団体による大学見学会、講演会講師の依頼、大学の施設利用や教員の専門分野に関するご相談などに随時対応しています。

詳しくは地域交流センター（担当：柴田・中島）までお問い合わせ下さい。

<発行> 鳥取看護大学・鳥取短期大学地域交流センター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL&FAX:0858-26-9138(直通) E-mail:chiiki@ns.cygnus.ac.jp

<印刷> 有限会社 矢積印刷 倉吉市宮川町2-36



鳥取看護大学 地域交流センターだより

第15号 2015.7.28



看護大学全景



給食管理実習棟



学生寮



看護大学1期生

“活気溢れるキャンパス、 充実する施設・設備”

学校法人藤田学院 理事長 山田 修平

鳥取県看護連盟と地元自治体また地域住民の方の強い要請とご支援を受けて鳥取看護大学が4月に開学致しました。4月9日には1期生80名が入学しました。本当に何事にもチャレンジ精神旺盛な1期生です。相乗効果でしょうか、とりたんの学生たちも、従来に増して学内外の様々な行事、ボランティア等活動に取り組んでいます。加えて「こども園」の園児達の弾ける声と笑顔が交じり合い学園内は一層活気に溢れています。

看護大学の設立に当たっては、鳥取県、倉吉市、中部ふるさと広域連合より、全事業費の約半額にあたる約16億円の公的支援を受け、とりたんと同一の敷地内に看護大学の学びの拠点となる5階建て、エメラルドグリーンの看護棟を建設致しました。1階は地域の方々との交流の場ともなるエンランスホール、事務室、学長室等、講義室(2階)、実習室(3階)、演習室と図書館別館(4階)、研究室(5階)、そして車椅子の練習場を兼ねた屋上となっています。屋上からは

大山、蒜山、日本海の見事な眺望が楽しめます。また鳥取短期大学に関しても、生活学科食物栄養専攻の学生のために給食管理実習棟を3月に新築致しました。献立作成室、試作室、そして最新の設備を整えた厨房がある実習棟です。新しい実習棟で、学生たちが献立を作り、調理した料理の味は格別です。

さらに、倉吉駅近辺に3階建ての白亜の学生寮を設置致しました。トイレ、家具を備え付けた96室の個室に、10-12部屋毎にキッチンやランドリーを設置したコミュニティスペースがあり、風呂は旅館並みの広さと豪華さです。

もちろん人を育む基本は「人」です。それと同時に自然環境や施設、設備環境も重要です。常に学ぶ環境にも目配りをと存じます。

どうぞ皆さん、充実した施設、設備を見学がてら、学生の笑顔溢れる緑のキャンパスに気楽にお越し下さい。大歓迎です。皆さん方との交流を私たち教職員も学生達も楽しみにしています。

地域交流・地域連携



公開番組「√るーとFresh」を実施



5月29日(金)、鳥取短期大学シグナスホール・大講義室においてNHK鳥取放送局の公開番組がありました。これは、鳥取県内で放送されている番組「√るーとhigh↑2」が放送6年目に突入することを記念して拡大版を生放送で行うという企画です。番組の主題歌を歌う「あほ男」(鳥取短期大学卒業生のバンド、地域貢献賞受賞)の生演奏で始まり、おなじみ「教えて! 方言博士」のコーナーの後、4月に開学したばかりの鳥取看護大学を「学内探検」。そして「レッツ・シンキング♪鳥取ヤングソング」と題し、学歌のメロディにのせて都会の若者に向けた歌詞を考え、会場全員で歌いました。また、鳥取県中部地域で有名な「いぎす」を使った「√るーと定食」づくりにも挑戦しました。この日は学内外から多くの参加があり、大盛り上がりの75分でした。

訪問演奏ボランティアにでかけました

～高齢者や子どもたちとの交流～



吹奏楽同好会

5月9日(土)、吹奏楽同好会の学生等10名が、北栄町社会福祉協議会の運営する小規模多機能型居宅介護「いろいろの郷」と「北条デイサービスセンター」へ出かけました。「いろいろの郷」は、高齢者施設と保育所との共生施設になっており、当日は高齢者12名、子どもたち9名とスタッフが一堂に集まり、学生の演奏を聴きました。演奏曲は「トロメレー」、「上を向いて歩こう」、「花は咲く」など、子どもから高齢者まで楽しめる6曲で、最後に「ふるさと」をみんなで一緒に歌いました。演奏後には、学生たちが手作りした「折り紙」をプレゼントし、和やかな演奏交流のひと時となりました。

鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座のご案内

今年度は「次世代につなぐ」をテーマに行っています。このテーマはこれまで永きにわたり受け継がれてきた事柄を十分に理解し、それを現代風にアレンジしながら次の世代へと継承していくことの大切さを改めて考えてみようとして設定したものです。

すでに終了した回もありますが、残りの回は次のとおりです。

■会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ■時間 13:30～15:00



| 回 | 月/日(曜) | テ マ | 講 師(所属学科・専攻) |
|---|---------|---------------------------------|----------------------------|
| 6 | 8/21(金) | 地方の市町村が消えていく? ～まち・むらは持続できるか～ | 野津 和功 (生活学科 情報・経営専攻 教授) |
| 7 | 9/11(金) | 子どもたちの未来を考える | 横濱 純一 (附属幼稚園・附属保育園 園長) |

～地域交流センター研究報告書を発刊しました～

地域交流センター研究報告書第4号『「地方創生」と大学』を発刊しました。内容は地方創生のもととなった人口減少問題について鳥取県内、特に中部地域の状況について概観するとともに「地方創生」について大学として取り組むべき課題を提起しています。

平成26年度に実施された鳥取短期大学地域研究・活動推進事業の各テーマを掲載しています。



看護大学 まちの保健室紹介

鳥取看護大学の「まちの保健室」は、どなたでも気軽に立ち寄っていただける、心と身体の健康をみる場所です。学校の保健室のような、地域の中のホッとする場所をめざしています。

「まちの保健室」は目的・方法によって次のように分けられます。

| | |
|----------|---------------------|
| 1. 拠点型 | 鳥取看護大学の交流ホールで毎月1回開催 |
| 2. 準拠点型 | 地区公民館で3か月に1回程度開催 |
| 3. 出前型 | 地域からの要望を受け、その地域に出向く |
| 4. イベント型 | 地域の中で行われるイベントに参加 |

いずれの「まちの保健室」も血圧や体脂肪、骨密度などを測定し、健康や生活についての相談を受けています。看護大学で行われている拠点型「まちの保健室」は、人と人との交流、ふれあいの場としてのサロニックな役割を果たします。6月に実施された「飲み物の落とし穴」と題した健康ミニ講話では、21名の参加者がありました。上井公民館の準拠点型「まちの保健室」は既に4回実施し、「知って得する認知症予防の話」と題した健康ミニ講話も行ないました。

「SUN-IN未来ウオーク」や「中部発! 食のみやこフェスティバル」のイベント型にも出展し、各250名の方々においでいただきました。「頑張ってるね」と励ましの言葉もいただき、和やかな雰囲気の中での開催となりました。このような「まちの保健室」事業は、学生にとって、大切な学びの場となっています。



世界ALSデー イベント出演

6月21日は世界ALSデー。この日、日本ALS協会鳥取県支部(岡本充雄支部長)の呼びかけで、筋萎縮性側索硬化症(ALS)について知ってもらうイベントが、JR鳥取駅前バードハットで開催されました。中部ALSサポート隊(CAS)のメンバーとして、鳥取看護大学の学生も参加しました。

CASは、鳥取県中部圏域の保健・医療・福祉専門職とその家族・知人などからなるボランティアグループで、当日は約45名が参加しました。鳥取県支部のテーマソング「伝わる瞬間」の合唱に向け、約1か月前から練習を重ねました。

イベントには、100人を超える人たちが集まり、一斉に寝そべるALS身体体感の疑似体験、意思伝達装置や文字盤でのコミュニケーション、最新の車いすなどを体験し、文字通りALSを全身で感じました。今後もALSで療養される方々とともに、より良い生活や暮らしが実現できるように取り組みたいと思えた一日でした。



身動きが取れなくなった身体を体感

教員紹介



鳥取看護大学 学部長

教授 前田 隆子

- 出身：鳥根県安来市
- 専門分野：母子の看護、母子保健
- 学位：博士(医学)(鳥取大学)
- 最終学歴：日本女子大学家政学部児童学科

鳥取大学医学部で長い間看護師養成に携わってきました。その間に大学で研究、博士号を取得し、教育と研究の楽しい日々でした。ご縁があって、この4月に鳥取看護大学に着任いたしました。担当は「母性看護学」で、妊婦、産婦、産後の母子の支援を中心に学ぶ科目です。看護教員として働いて5年たった頃に文部省在外研究員としてUCLA(カリフォルニア大学)へ短期出かける機会をいただきました。母子関係、母子の絆に関する研究を手掛けている教室でした。以来長きにわたり、母子の絆をテーマに取り組んで、子ども達の健全な育成を願っていますが、家族、社会の影響も大きく、課題は山積しています。鳥取看護大学でも楽しく、教育と研究に取り組めるよう努力していきたいと思っています。